

保育所での体験学習

3月4日に、5年生のみんなで、大方中央保育所へ体験学習に行きました。

まず、江口先生からお話をしていたら、私たちがからの質問にも、たくさん答えてもらいました。

おどろいたことは、今までにひなん訓練を20回もしていたり、もしも刃物を持った人が来たときのことを考えて「さすまた」や「とうがらしスプレー」などを備えていたりすることです。保育所の子どもたちを守るための工夫がたくさんあるのだなと思いました。

そして「先生たちのうれしいことは」という質問に、江口先生は「子どもたちが成長していく姿を見ることができるところです」と答えてくれました。私たちも小さいときにそう思われながら大きくなったのだなと、うれしくなりました。

年長さんとの交流では、グループに分かれて絵本を読み、いっしょに折り紙をしました。絵本を読んでいると、年長さんが笑ってくれたので、私たちも緊張が消え、いっしょに笑って楽しかったです。



この体験を生かして、4月からやさしい6年生になりたいです。

(田ノ口小学校 5年 金子 陽菜)

ふれあい参観日

2月23日ふれあい参観日がありました。

前々から、自分達が決めた内容を調べたり、まとめたりして、ふれあい参観日のために練習しました。

午前中は、お母さん達と一緒におもちゃをつきました。とても楽しかったです。

そして、5時間目になり、ふれあい参観日が始まりました。それぞれの学年が、自分達が調べたことを発表してとてもよくできていたし、お客さんにも分かりやすく発表できていて、とても良いなと思いました。ほく達も森林のことについて発表して、やってほしいことも堂々と言えたので良かったです。最後のパネルディスカッションでは、緊張して自分の言いたいことの半分しか言えなかったの、次はもっと自分の意見が言えるようににしたいです。黒潮町に対する気持ちも言えてとてもいい参観日でした。



(南郷小学校 6年 隅野 晴)

宮城県で県外生徒と交流

3月2・3日に、宮城県多賀城市で高校生142名が集い「東日本大震災メモリアルday 2018」が行われました。防災を通して交流のある宮城県多賀城高等学校の主催ということで、本校も参加しました。



初日は震災遺構の見学、講演、災害図上訓練を行いました。津波が押し寄せた荒浜小学校では、津波の跡や壊れた校舎が生々しくて恐怖を感じました。そこで生き抜いた方のお話を聞いて、事前の準備と、諦めないということの大事さを改めて思い知らされました。

2日目は、各校の学校紹介・防災の取組のポスターセッション、都市型津波の痕跡をたどる「まち歩き」を行いました。ポスターセッションでは、緊張しましたがうまく発表できました。そして、他校の様々な取組を知り、今後の参考になりました。

県外の生徒との交流は楽しく勉強にもなりました。意欲的な姿勢に刺激も受け、有意義な経験となりました。



(大方高校 2年 喜多 祐樹)